



6 2026

発行所 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪高松大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700 (代表) TEL (06) 6946-3223 (直通) FAX (06) 6946-3224 (直通) E-mail: kyokuhou@ostkcatholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙 「点訳版」「音訳」があります。ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 教区報 ☎06-6946-3223 (直通) ☎06-6946-3224 (直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-22-1649

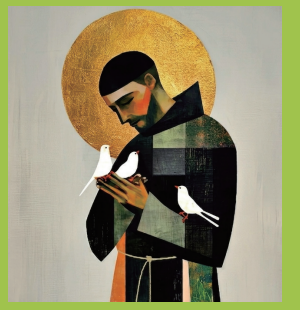
☆ 平和句問・月問2026のテーマ説明  
☆ 性虐待被害者のための祈り  
☆ 聞かせてください、神様と出会った時のこと  
☆ 若屋教会・子園教会合同聖信式  
☆ 広報委員会へのEメールアドレス=kyokuhou@ostkcatholic.jp

☆ 夙川教会聖信式 (3面)  
☆ シンポジウム 東日本大震災から15年 (3面)  
☆ バチカンニュース F1A-T案内  
☆ F1A-T案内

『教区報』原稿・資料等の締切は前々月末です。

# 聖フランシスコ年

## アッシジの聖フランシスコ没後800周年記念



### 特別聖年その現代的意義

教皇レオ14世は、2026年1月10日、アッシジの聖フランシスコ没後800周年を記念して「特別聖年」を宣言されました。教皇は2027年1月10日までの1年間、すべてのキリスト者が「聖フランシスコの模範に倣い、聖なる生活の真髄を示し、平和の絶え間ない証人となること」を求めておられます。

1226年に帰天した聖フランシスコの遺産が、800年を経た現代においても多大な影響とインスピレーションを与え続けていることを、このメッセージは改めて裏付けています。では、800年という長い年月を経て受け継がれてきた聖人の模範と遺産を、私たちは今日、どのような観点から見出すことができるでしょうか。

#### 「貧しさを愛したフランシスコ」

フランシスコカン靈性の核心は「清貧」にあります。しかしこれは、単に貧しさそのものを愛したという意味ではありません。フランシスコが愛したのは「貧しくあられたキリスト」でした。神の御子が卑しい人間の姿で生まれ、仕えられるためではなく仕えるために来られ、自ら貧しい者となられたフランシスコはこのキリストの道を徹底して歩むことを望みました。貧しいキリストに倣って清貧を生き、生活に困窮する人々に寄り添う中で、彼は人間に対する神の深い愛を確信したのです。

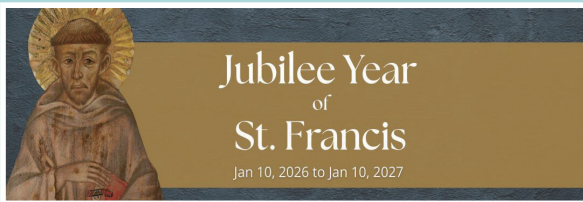
#### 「平和の祈り」と平和の証し

フランシスコは、自らが「平和の道具」となることを強く願っていました。800年前の世界は、キリスト教圏とイスラム圏の対立、地域紛争、そして厳格な身分制度による階級間の葛藤が渦巻いていました。その中でフランシスコは、平和の仲裁者としてイスラムのスルタンを訪問し、イタリヤ各地を巡って平和を宣言しました。また、貴族と平民の激しい対立の間に入り、和解を促しました。彼が捧げた「平和の祈り」は、戦争と葛藤が絶えない現代社会において、私たちがいかにかして平和への道を見出すべきかを鮮明に示しています。

#### 普遍的な「兄弟愛」

フランシスコは、すべての者がキリストにおいて兄弟姉妹となることを望みました。その愛は人間同士にとどまらず、神が造られたあらゆる被造物にまで及びます。彼が歌った「太陽の賛歌」は、彼の理想とした兄弟愛・姉妹愛の本質を見事に表現しています。平和を切望する

### 教皇レオ14世による フランシスコのための祈り



わたしたちの兄弟である聖フランシスコ。あなたは800年前に平和の人として、姉妹である死に会いに行きました。

主のみ前でわたしたちのために執り成してください。あなたはサン・ダミアーノの十字架のキリストのうちにまことの平和を見いだしました。

十字架のキリストのうちに、すべての壁を打ち壊す、和解の源泉を求めことを教えてください。

あなたは武器をもたずに、戦争と無理解の境界を通りました。

世が国境を築くところに橋を架ける勇気をわたしたちに与えてください。

紛争と分裂に苦しむこの時代に平和を実現する者となることができるように執り成してください。わたしたちがキリストからもたらされる、武器のない、武器を取り除く平和の証人となれますように。

アーメン  
フランシスコ会家族総長たちへの手紙から

### 仕合わせの誓願新た 聖週間



聖油の祝福と聖別

### 聖香油ミサ

聖週間を迎えた4月1日、大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂で「聖香油ミサ」がささげられた。

このミサは、司教と司祭が一致して奉仕する教会の姿を示す大切な典礼であり、司祭が叙階の際に立てた決意を新たにし、神と人々に仕える使命を再確認する特別な機会である。

式中、病者の塗油、洗礼、堅信、司祭叙階などの秘跡に用いられる三種類の聖油が祝福、聖別された。併せて司祭叙階の節目、叙階60周年(ダイヤモンド祝)、50周年(金祝)、25周年(銀祝)を迎えられた司祭の紹介と顕彰も行われ、その長年の献身に深い感謝がささげられた。

参列した信徒もまた、司祭たちの歩みを守られるよう、そして聖油を通じて秘跡を受ける人々に神の導きがあるよう、共に心を合わせて祈った。



ダイヤモンド・金・銀祝を迎えられた司教・司祭

# SIGNISJAPAN シグニスジャパン おすすめコンテンツ



シグニスジャパン受賞作『ふつうの子ども』(2025年製作、96分)は、小学4年生の子どもたちの日常と人間関係を軸に据えた人間ドラマ。主人公の少年と同級生たちが「環境活動」に関わる中で、出来事が思わぬ方向へと展開し、大人たちをも巻き込んでいく姿を描く。



選考にあたり、シグニスジャパン顧問司祭の晴佐久昌英神父は、本作について「子役の演じる劇映画でありながら、ドキュメンタリー以上に子どもの真実を映し出すという、不可能に近い試みを実現した」と評価し、子どもたちの内にある力が現代社会への根源的な問いを投げかけていると指摘した。

同賞はこれまで、『この世界の片隅に』『おくりびと』など、ジャンルを超えて人間の尊厳や希望を描いた作品を顕彰してきた実績を持つ。近年では第49回に安田淳一監督『侍タイムスリッパ』が選ばれている。

授賞式および上映会は7月5日、東京・千代田区の暁星学園講堂で開催される予定で、作品上映に加え、呉監督と晴佐久神父による対談も行われる。



◀ここからQRコードを読み取ってください。  
第50回日本カトリック映画賞決定7/5(日)  
授賞式・上映会

## SIGNIS(カトリックメディア協議会)

「SIGNIS(シグニス)」とは、ラテン語で“印(しるし)”を意味します。

SIGNISは、バチカン教皇庁広報省に協力する、95年の歴史を持つ世界的なカトリック・メディア団体です。イタリア・ローマに本部と技術サービスセンターを置き、現在、世界100カ国以上に支部を展開しています。

2001年、教皇ヨハネ・パウロ2世の強い希望により、それまで分かれていた「OCIC(映画・視聴覚)」と「UNDA(ラジオ・テレビ)」の2組織が統合。メディアの枠を超えた包括的なネットワークとして、新しく“SIGNIS”が誕生しました。

日本では「SIGNIS JAPAN(カトリックメディア協議会)」として、聖職者・信徒・求道者が活動しています。私たちは、映画、放送、インターネットといった多様なメディアを通じ、現代社会に福音の喜びを伝えています。

## カトリック墓地 納骨堂・納骨所 使用者募集

大阪高松教区の信者の方のみがお申込みいただけます。詳細は資料をお送りさせていただくほか、インターネットでもご覧になれます。

資料請求やお問い合わせは  
教区本部事務局  
総務課 管理部門  
☎ 06-6941-9705



ひとりで悩まないで  
～私たちに聴かせてください～

## カトリック大阪高松大司教区 ハラスメント相談窓口

※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。

電話番号:06-6941-9718

相談窓口受付時間

月・火・金曜日(祝日を除く)  
午前10時～午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。  
秘密は必ず守られます。



2026年平和旬間・月間共通テーマについて  
「武器を手にしたまま、愛することはできません」。聖パウロ6世が1965年の国連のスピーチで述べた言葉です。真の平和は非武装の平和以外にあり得ない。このことは過去の歴史を振り返っても明らかです。それにもかかわらず、世界の多くの国々は、戦争・武力行使の道を突き進んでいます。1月31日に各地区から代表者が集まり、2026年の平和旬間・月間のテーマについて話し合いました。今の世界情勢を憂慮し、本年はアシジの聖フランシスコに由来する「私をあなたの平和の道具としてください」という祈りの言葉の一節を取り入れることになりました。ちなみに今年はこの聖人の没後800年にあたります。

副題は2019年11月24日に教皇フランシスコが、広島(文) 社会福音化部門事務局シナピス・センター長 松浦謙) 島における「平和のための集い」で、「倫理的命令」として語った「思い出し、共に歩み、守る」です。「思い出す」とは、過去の戦争の過ちを忘れないこと、その記憶を次世代にも伝えていくことです。「共に歩む」とは、今、教会が目指そうとする「シノダリティ」に他なりません。平和と信頼に満ちた世界をめざし兄弟愛の精神をもって協同し連帯することです。最後の「守る」とは誰もが人間らしく生きることでできる社会を築くこと、あらゆる差別や排外主義と決別し、いのちと人権を大切にすることです。

## テゼの祈りにともに心を寄せて



3月7日、サクラファミリアにおいて「第7回 性虐待被害者のための祈りと償いの日ーテゼによる祈りの集い」が行われ、スタッフを含め22人が参加しました。

大阪高松教区ハラスメント対応委員会  
第7回 性虐待被害者のための祈りと償いの日  
ーテゼによる祈りの集い

初回から同じプログラムを用い、聖書の黙想とテゼの祈りを通して、多くの苦しみの中にある方々に心を寄せることを目的としています。集いの中では、過去4年間の電話相談の集計について、委員の一人が前回とは異なる視点からメッセージを述べました。相談内容がセクシャルハラスメントから、教会内の人間関係に起因するものへと変化していること、そしてその背景には教会に根強く残る上下関係があり、声を上げにくい状況があることが語られました。

その上で、教会の中でこそ、同じ人間としての土台に立ち、人間関係をふさわしいものへと整えていく努力が必要であると強調しました。これはまさに、フランシスコ教皇が勧めるシノダリティの精神にかなうものであり、その精神の中で、誰かを責めるのではなく、共同体として真の力を発揮する道が示されました。今回は広報を丁寧に行ったこともあり、前回より参加者が増えました。祈りの後の懇親会では、共に祈った者同士の間で温かく打ち解けた雰囲気生まれ、参加者からは「共同体の責任者にも積極的に参加してほしい」との声も聞かれました。

参加者の一人は、「ともに祈ることが持つ力強さを深く感じた集いだ」と感想を述べました。次回は秋に再び祈りの時を持つ予定です。少しでも教会の中に風通しの良い関係が広がるよう願いを込めつつ、参加者は散会しました。  
(文) 大阪高松教区  
ハラスメント対応委員会)



# 聞かせてください 神さまと出会った時のこと 〜エマオへの道で〜

## 第20回 和田幹男 神父 (大阪高松教区)

住吉教会出身。フランス人神父より公教要理を学ぶ。父は東京の暁星でフランス語を学び、伝道師としてパリミッシヨンの神父の手伝いをしていた。母は京都府綾部出身。父母を結んだのは母の通っていた宮津教会の山中巖彦神父だった。私が生まれたとき、山中神父は「祭壇に上る司祭が乳を飲む」と俳句を作ってお祝いしてくれた。叙階式の時にも、同じ句をもらった。両親は、私が生まれた時から司祭になるよう育てた。小学5年生の時に父が帰天し大阪に戻ると、玉造教会の主任司祭として山中神父がおられた。私はそこで小神学校に入ることを薦められた。

小神学校では、田口芳五郎司教が創ったヨゼフ会のシスターが、自分たちの食べるものを犠牲にしながら育ててくれた。中学高校と6年間勉強して東京の神学校へ。その頃は1年生が42人もいた。上智大学および大学院で哲学を6年学んだ。その後、大阪教区から私と神林宏和神父がローマへ、村田稔神父はアメリカに留学する。1966年、ローマでパウロ6世より叙階を受ける。

司祭になる前から、ウルバノ大学で神学と聖書学の学位を取得するよう、田口司教から言われていた。聖書学に不可欠なドイツ語を習得するため、ドイツ・ケルン教区の教区長に願い出、そこで働いた。ローマで学び、休みになるとケルン教区へ。途中オーストリアの田舎、小さな教会が日本人司祭を歓迎してくれた。厳しい勉強の中でも励まされた。あの場所のお花畑の蜜が各別においしかったことを覚えている。

教区司祭として72年から75年、神学生を指導しながら、英知大学で勤務。安田久雄司教は大学を大事にしてくれた。新共同訳聖書の翻訳にも駆り出され、ヨブ記を担当。



叙階式翌日、ローマでの初ミサ。写真一番右が和田神父

は、今までにない新しい聖書の読み方を応用したところもある。最先端に行く聖書学の先生の元で学んだ、1930年ごろにシリアで発見された、聖書ヘブライ語以前のセム語を解読して翻訳に用いたのである。聖書を訳すだけでなく、聖書全体がどういうものであるか、と言う観点から聖書を読んでいくことも大切である。もう少し頑張ろうと思う。

「喜んで与える人を神は愛して下さる」  
—ニコリント9・7—

ローマ留学中、副助祭になる同級生50人と聖堂に入る前に、中国人の副院長が黒板に書いたパウロの言葉が、今も心に刻みこまれている。嫌々与えるのではなく、喜んで与える。あなたの人生を喜んで教会に捧げなさいという意味が込められている。まさに今でも僕は喜んで与えている。喜んで与えるものを神は愛される。信者でも洗礼・堅信の時に、修道者なら誓願時に自分を喜んで捧げる。嫌々だったから神も喜ばれないでしょう。良いお言葉をいただいたと思う。そのときから、あつという間の60年だった。

サクラファミリアで偶数月に開催中

# キリストの証し人として歩む

## 芦屋教会・甲子園教会 合同堅信式



洗礼の約束の更新

4月12日、カトリック芦屋教会聖堂にて、芦屋教会・甲子園教会合同の堅信式が行われ、約170人が参加した。司式は前田万葉大司教、共同司式は川部裕明主任司祭。受堅者は芦屋6人、甲子園3人の計9人であった。

春の光が満ちる聖堂は、参列者全体が受堅者と心を合わせて祝う和やかなひとときとなり、明るく晴れやかな雰囲気の中でミサがおこなわれた。

説教では、祭服の赤が象徴する「聖霊の火」が固い心をも溶かす力を持つことが語られ、受堅者がキリストの証し人として歩むよう励まされた。さらに大司教は三つの句を詠み、「ともあゆの芦屋教会風光」では共に歩む教会の姿を、「永遠のいのち堅信復活祭」では復活の命への確信を、「いつくしむ平和の使徒や復活祭」ではゆるしと和解の精神を示し、現代に必要な「いつくしみの心」であると強調した。

(芦屋教会広報委員会)

# エマオへの道で 心が燃えたふたりの弟子のように

## 夙川教会 堅信式

4月19日、カトリック夙川教会にて前田万葉大司教主司式のもと、ダニエル李昇倫神父との共同司式ミサが行われ、8人(うち中学生3人)が堅信の秘跡を受けた。



会衆が見守る中、喜びと決意を湛える受堅者たち

言葉のもと、聖霊の風を受けて生きるよう招かれた。

ミサ後の堅信パーティーは終始和やかで、家族や信徒に祝福される温かな時間となった。受堅者の感想には、大司教の眼差しや言葉に神の愛を感じたこと、聖香油を受けた厳かな瞬間の引き締まる思い、自らの意志で信仰と向き合う決意が述べられた。また、86歳の受堅者は、残された日々を祈りと共に歩む大切さを語った。主催者は、準備に携わった関係者への感謝を述べるとともに、堅信を受け、大人の信徒となった受堅者が、これから責任を持って信仰に生きていくことへの期待を寄せている。

(夙川教会信徒 久保田真司)

# 2026年度 小教区ブロック司牧人事表

地区	ブロック	小教区						
姫路	姫路西	網干・飾磨・相生・赤穂・たつの(分)	共同	Fr. 金台根 <sup>キムテゴン</sup> 、Fr. 赤波江豊 <sup>アカハエ</sup>	協力	Fr. アンドレ・コレーン		
	姫路中	姫路・佐用	主任	Fr. ジュドネ・トンバ・ディパ		(協力)Fr. ゲストベオ・ギャリー		
		仁豊野・生野(分)	主任	Fr. ルドビカス・ゴーセンス				
		豊岡	管理	姫路地区				
	姫路東	加古川・西脇(分)	主任	Fr. ジャン・カレンガ・カペンデ				
神戸	神戸西	北須磨・洲本・明石・垂水	共同	Fr. 高橋 聡 <sup>サトシ</sup> 、Fr. ジェラルド・グイノ	協力	Fr. 中川 明		
	神戸中	たかとり・兵庫	共同	Fr. 松永 敦	協力	Fr. 神田 裕 <sup>ヒロシ</sup> <担当：三田>		
		鈴蘭台		Fr. コンニ・コンスタンチン・カランバ				
	神戸東	神戸中央・住吉	共同	Fr. ブインガ・ブレイズ	協力	Fr. 谷口 幸紀 <sup>ユウキ</sup> 、Fr. 徐裕昇 <sup>セウヨウシン</sup>		
六甲		主任	Fr. 加藤 信也 <sup>ノブヤ</sup>	助任	Fr. 渡辺 徹郎、(協力)Fr. 増井 啓 <sup>ハジメ</sup>			
阪神	阪神夙川	芦屋	主任	Fr. 川邨 裕明 <sup>カワムラ</sup>				
		甲子園	主任	Fr. ジョヴァンニ・デリア				
		夙川	主任	Fr. 季昇 倫 <sup>イスマリオン</sup>				
	阪神仁川	宝塚	主任	Fr. 朴起 徳 <sup>パクキドク</sup>				
		仁川	主任	Fr. 和越 敏 <sup>カスヨシ ヒロシ</sup>				
	阪神尼崎	伊丹	主任	Fr. アントニサーミ・イルダヤラージ				
		武庫之荘	主任	Bp. 諏訪 榮治郎 <sup>スワ エイジロウ</sup>				
北摂	北摂西	池田	主任	Fr. 中村 克徳				
		日生中央	主任	Fr. 畠 基幸 <sup>ハタ モトヨキ</sup>				
		豊中	主任	Fr. 野田 正弘				
		箕面	主任	Fr. 矢野 吉久				
	北摂東	高槻・茨木	主任	Fr. 清川 泰司 <sup>セガワ タイジ</sup>			協力	Fr. 下瀬 智久 <sup>トシヒサ</sup> 、Sr. 深瀬 聖子 <茨木>、Sr. 橋本 とも子 <高槻>
		千里 NT	主任	Fr. 香山 剛 <sup>ツヨシ</sup>			助任	Fr. ヨハネス・クリストファロス・レンゴ
		吹田	主任	Fr. 井田 明				
大阪北	梅田	大阪梅田・関目	共同	Fr. エリック・パウチスタ・デ・グスマン	協力	Fr. 赤波江 謙一		
	しろきた	今市・大東・門真	共同	Fr. オソリオ・フェルナンデス・アントニオ	Sr. エンシソ・アルダナ・グロリア			
				Fr. 長崎 壮 <sup>ツブ</sup>	Fr. ハイメ・シスネロス			
	河北	香里	主任	Fr. 梅崎 隆一 <sup>ウメザキ タカイチ</sup>	協力	Fr. フェリックス・マルティネス		
枚方		主任	Fr. 林 和則 <sup>ハヤシワカノリ</sup>	協力	Sr. 高橋 由美子			
大阪南	阿倍野	阿倍野	主任	Fr. 山本 英明	協力	Fr. 中野 正勝 <平野>		
		大阪田辺・平野	主任	Fr. 酒井 淳				
		藤井寺	主任	Fr. 申 繁時 <sup>シン シゲトキ</sup>				
	堺	堺・泉北・金剛・橋本	共同	Fr. 高島 政行、Fr. 鄭海成 <sup>ジョンヘンソン</sup>	協力	Dn. 丹生 信雪 <sup>タンジヨウ ノブユキ</sup>		
				Fr. レネ・バント・カンデラリア				
	かわち	布施・枚岡・八尾	共同	Fr. 安曼祐、Fr. 高山 徹 <sup>アンミンク アキラ</sup>	協力	Sr. 戸村 晴美		
		みなと	住之江・なみはや	主任			Fr. 松浦 謙	
玉造	玉造	主任	Fr. ヌノ・リマ	協力	Fr. ファン・グ・スアン・トアイ、Fr. 崔周永 <sup>チェジュヨン</sup>			
	大阪生野	主任	Fr. 申城 吉 <sup>シンソンシル</sup>					
岸和田	紀泉	岬・泉南・紀の川	主任	Fr. イポリト・ヴィダ	協力	Fr. 最頼 巖流 <sup>モヨリ イワンリウ</sup> 、Sr. 川野 恩恵 <sup>メグミ</sup>		
	いずみ	岸和田・浜寺・和泉	共同	Fr. 村田 稔、Fr. ロムアルドウス・ジュアン	協力	Fr. トーレス・フリマス・パブロ・エマヌエル		
	りんくう	貝塚・熊取	主任	Fr. デンニ・ワユディ				
泉佐野		主任	Fr. フラビオ・ベスコ					
和歌山	紀北	和歌山紀北	共同	Fr. ヘスス・マリア・モラレス				
	紀南	紀伊田辺・御坊・龍神	主任	Fr. グェン・クオク・トゥアン				
香川	東讃	番町・小豆島	共同	Fr. 森 一幸	共同	Fr. イスマエル・ゴンザレス		
		桜町		Fr. 松浦 信行				
	西讃	三本松	Dn. 西川 康廣	(協力)Fr. ヤピッカ・アントネッロ				
		坂出	Fr. ホセ・ラモン					
徳島	鳴門・徳島・阿南	共同	Fr. 松浦 信行	Fr. タランガ・ナマル・ペレラ				
			Fr. トマス・ティアゴ					
高知	中島町・安芸(礼)	主任	Fr. サワリムットウ・スティフェン、Fr. 春名 昌哉 <sup>ハルナ マサヤ</sup>	協力	Fr. 池田 純			
			Dn. 小山 一、Br. 八木 信彦					
			江ノ口・赤岡(礼)			主任	Fr. ヒラン・インディカ・ジャヤワルダナ	
愛媛	東予	新居浜・西条	担当	Fr. 古川 健一	協力	Fr. レチョン・ハビエル		
		今治	担当	Fr. フランシス・ブーリン				
	中予	松山	担当	Fr. 郷 文成 <sup>ゴウ フミナリ</sup>			Fr. アルベルト・ゴンザレス・サイズ	
		道後	担当	Fr. ピーター・ジャ・レ				
南予	八幡浜・宇和島	主任	ドミニコ会					
その他	Fr. バオロ・スック(教区協力)		主任	Fr. ホルヘ・ソーザ				
	Fr. 大久保 武(中央協議会)		主任	Fr. 豊田 貴範(海外留学)	ドムスガラシア : Fr. 和田 幹男、Fr. 池田 雄一、 Fr. ミッシェル・コーナン、Fr. 留永 久照 <sup>トメナガ ヒサアキ</sup>			
	Dn. グェン・アン・サオ/日本語研修(福岡)		主任	Fr. 上田 憲(海外留学)	仁豊野ヴィラ : Abp. 池長 潤、Fr. 明石 健次、Fr. 池田 義高、Fr. 直木 茂			
		主任	Fr. 藤原 直達(厳律シトー会/西宮修道院)					



# シンポジウム 東日本大震災から15年 この経験から 見えてくるもの

3月11日、カトリック仙台司教区とカリタスジャパン共催により仙台教区カテドラル元寺小路教会の大聖堂でシンポジウムが開催された。

2011年3月11日14時46分、マグニチュード9.0という日本周辺における観測史上最大の地震である東日本大震災が発生した。大きな揺れや津波、津波火災などにより、12都道府県で2万2332人の死者・行方不明者が発生し、震災から15年を迎えた今もなお、2549人の方々が行方不明となっている。

カトリック仙台司教区では、3月11日に「3・11東日本大震災犠牲者追悼・復興祈願ミサ」が執り行われた。ミサに先立ち、カリタスジャパンとの共催で、シンポジウム「東日本大震災から15年―この経験から見えてくるもの―」が開催された。

シンポジウムには、成井大介新潟教区司教(当時・仙台教区サポートセンター事務局長)、深堀崇氏(当時・カリタス大船渡ベース



3人の司教、司祭団による追悼ミサ

リタスジャパン緊急対応支援チーム)としての災害対応について語った。また成井司教は、「教会は災害の前からそこにあり、災害の後もそこにあり」と述べた。立場は異なっても、3人に共通しているのは、「支援する側・される側ではなく、共に生きる存在となること」の大切さであった。

第2代事務局長)、園部英俊氏(当時・仙台教区サポートセンタースタッフ)が登場し、それぞれの支援経験を振り返りながら、震災が教会に問いかけていることを語った。園部氏は石巻での継続的な支援活動の葛藤について、深堀氏は地域とのつながりやCERST(カ

リタスジャパン緊急対応支援チーム)としての災害対応について語った。また成井司教は、「教会は災害の前からそこにあり、災害の後もそこにあり」と述べた。立場は異なっても、3人に共通しているのは、「支援する側・される側ではなく、共に生きる存在となること」の大切さであった。

シンポジウム後には、エドガル・ガクタン司教主司式による追悼と復興祈願のミサがささげられた。発災時刻の14時46分には黙祷が行われ、その後ミサが始まった。震災当時

## 訃報



Sr.マリア フェデス 亀田京子(聖ドミニコ宣教師修道女会は、急性心臓死のため帰天。80歳。愛媛県出身。奉獻生活57年。)

1968年10月の初誓願後、聖カタリナ学園教員、2年間ローマのウルバノ大学で宣教師を学び、帰国後、教会司牧4年を除き、本学園の教員、事務職を42年間奉仕。また会と学園の役員、修道院長を長年果たし、姉妹たちを見守り導いた。姉妹は、修道会、学校の歴史に深く関わられ、小教区の司牧にも熱心に携わり、周囲の人々に慕われる心優しい人柄であった。

シンポジウムの様子は、カトリック中央協議会ウェブサイトで動画公開されている。



## バチカンニュース 教皇レオ14世 在位1年を迎えて ロザリオの聖母への信頼

教皇レオ14世はちょうど1年前に自ら教皇に選ばれた日が「ポンペイのロザリオの聖母への嘆願の日」であったことを思い起こし、「マリアの保護のもとで奉仕する決意を新たにされた。

この「ロザリオの聖母」への信頼は、レオ13世以来の伝統に続くものであり、レオ13世がロザリオの祈りを広めた功績を継承する形

となっています。

教皇は、マリアが神の子を身ごもることを告げられた天使ガブリエルの言葉「おめでと、恵まれた方」

を黙想し、アヴェ・マリアの祈りは喜びへの招きであり、神のいつくしみ人間に訪れたことを告げるものだと言いました。

マリアは「はい」と応えたことで、イエスの誕生だけでなく、教会そのものの誕生にも関わり、「神の母」であると同時に「教会の母」となったのです。

ロザリオの祈りは、ガブリエルの挨拶が何世紀にもわたって響き続けるように、信者の心をイエスへ導

く祈りであり、神への愛を表す行為として位置づけられました。そのシンブルの中に、キリスト神学

の深い神秘が凝縮されていると教皇は強調します。さらに、聖ヨハネ・パウロ二世が「光の神秘」を加えたことを思い起こし、ロザリオが福音書全体を要約する祈りであると述べました。しかし、世界は今も

戦争や不正に苦しんでおり、教皇は「平和は心の中

り信仰によって人々の心が変わることを真の平和の始まりだと訴えました。

最後に、イエスの言葉「信じて祈るならば、求めるものは何でも得られる」(マタイ21:22)を引用し、世界の戦争と暴力に心を痛め、「平和は心から生まれる」と語り、聖母の取り次ぎによって神の愛が人々の心を照らし、憎しみを鎮め、世界を救うよう祈られました。

(バチカンニュースより引用)

大阪のカトリック病院  
**ガラシア病院**

信者の皆様、  
入院はガラシア病院へどうぞ!  
【一般病院との違い】

- \*チャプレンが常駐して秘跡の授与ミサは、主日に病院と老健で交互にミサに与れない時は各部屋で「聖体拝領」さらに「病者の塗油」等は適宜に
- \*霊的ケアを専任の神父とシスターが担当  
〒562-8567  
箕面市粟生間谷西 6-14-1  
☎072-729-2345  
医療法人ガラシア会(チャプレン 松本信愛)

青年と子どもの  
**錬成会**  
愛をつなげるぶどうの木

日程  
2026年  
8月9日(日)~  
8月11日(火・祝)

【集合時間】9日(日)14時  
(受付は13時より)  
【開催場所】11日(火・祝)12時30分

開催場所  
大阪信愛学院小学校  
(大阪市東淀川区吉原2-7-30)

対象  
小学3年生~中学3年生

募集人数 80人

参加費 6,000円

申込方法  
右のQRコードからお申し込みください

申込締切  
7月23日(木)

お問い合わせ  
osaka.takamatsu.seinen02@gmail.com  
06-6941-9700 (平日9時~17時)

主催  
カトリック大阪高松大司教区 青年司教委員会

2026春  
社会福音化部門のつどい  
**教皇レオ14世に学ぶ平和**

6.27(土)  
13時~16時

場所  
大阪高松大司教区本部事務局1階  
〒540-0004 大阪市中央区玉造2-24-22

お話・酒井俊弘補佐司教  
パネルディスカッション  
わかち合い

「戦争を未然にふせぐ」ために私たちがすべきことは何か。  
教皇レオ14世の言葉から学びます。

入場無料・申込不要  
どなたでもご参加ください

主催  
大阪高松大司教区 シナピス  
☎06-6942-1784

問合せ  
sinapis@ostk.catholic.jp

Osaka-Takamatsu  
**FIAT**

はじまりの地!

<開催日>  
毎月第3金曜に開催  
19時から21時半頃まで

<対象>  
18歳から35歳 (高校生不可)

<場所>  
ピアノネ館 京橋河内本町駅/河内本町駅 徒歩5分  
大阪府東大阪市永和田1-10-10 (布施教会 敷地内)

<問合せ>  
カトリック大阪高松大司教区 大阪高松セミナリオ  
E-mail: ostk-seminario@ostk.catholic.jp

Instagram(インスタグラム)  
Instagramを開設しました。  
スケジュールや様子をお知らせします。  
@OSTK\_SEMINARIO

<主催> 大阪高松大司教区 大阪高松セミナリオ

# 来、見なさい



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

## 教区委員会主催

### 社会福音化部門のつどい◆

『教皇レオ14世に学ぶ平和』『戦争を未然にふせぐ』ために私たちにできることは何か

おはなし 酒井俊弘補佐司教

日時 6/27(土)13:00~16:00

場所 大阪高松教区本部事務局

問 社会活動センター・シナピス

☎06-6942-1784

✉sinapis@ostk.catholic.jp

## サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと~エマオへの道で◆大阪高松教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をきく

日時 6/6(土)14:00~15:30

おはなし 諏訪榮治郎名誉司教

### 聖書ヘブライ語文法(初級)◆はじめての方もどうぞ

講師 小脇光男先生

(熊本大学名誉教授)

日時 第1・3(金)17:00~18:30

### コレーン神父の聖書講座◆「A年の主日のみ言葉に生かされて」

日時 6/8・7/13(月)

13:30~15:00

### 和田幹男神父◆聖書研究講

### 座「詩編を学ぶ」

日時 6/17(水)10:30~12:00

### 和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)

日時 6/1・6/15(月)

17:00~18:30

### 祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を

日時 毎月17日19:00~19:30

問 サクラ ファミリア

☎06-6225-8871

✉f.sacra@ostk.catholic.jp

## 結婚準備講座

### 六甲教会

日時 次回9/6(日)~9/27(日)

14:00~16:00(4回)

参加費 ¥5,000(2名)

問 ☎078-851-2846

✉renraku@rokko-catholic.jp

※事前要問合せ(年2回)

## 黙想会

### 宝塚黙想の家

#### ◆日帰り黙想会

日時 6/25(木)・6/26(金)

10:00~15:30

指導 染野治雄神父(6/25)

山内十束神父(6/26)

参加費 ¥3,500

### ◆一泊黙想会

日時 6/19(金)17:00~

6/20(土)15:30

指導 染野治雄神父

参加費 ¥9,000

### ◆新約聖書の世界への旅

日時 第1(月)19:00~

指導 山内十束神父

### ◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・3(水)10:00~12:00

指導 山内十束神父

参加費 ¥1,000

### ◆カトリック教会のカテキズム

日時 第1・3(水)10:00~12:00

指導 染野治雄神父

参加費 ¥1,000

### ◆柱の黙想

日時 6/4(木)10:00~12:00

指導 山内十束神父

参加費 ¥1,000

### ◆教会の教えと歴史

日時 第4(木)10:00~12:00

指導 山内十束神父

参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家

☎0797-84-3111

### 高橋聡神父◆カテキズム黙想会

日時 6/25(木)13:30~15:30

指導 サクラ ファミリア

主催 アネモネの会

問 高橋聡神父

☎090-6329-5709

## 講座・研修会

2026生と死を考える会 全国協議会全国大会◆「心の痛みを癒すため」

日時 6/27(土)14:00 お話と演奏:講師 大西貴浩さ

ん・Sr高木慶子(会場:神戸ポートピアホテル)

6/28(日)13:00 講演① 講師: Sr高木慶子・14:30 講演② 講師: 垣添忠生さん(会場:神戸臨床研究情報センター)

主催 兵庫・生と死を考える会 生と死を考える会全国協議会

参加費 6/27 ¥1,000円

6/28 ¥2,000円

申込締切 6/24

申込・問 兵庫・生と死を考える会

☎078-805-5306

✉hyougoseitoshi@outlook.com

### 講座◆小さくされた人々のための福音

日時 第3(金)10:00

場所 神戸学生青年センター

参加費 ¥1,000

主催 神戸国際支縁機構

問 岩村

☎070-5045-7127

## 集い

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15~35歳までの若者の集い

日時 第2(土)14:00~16:00

場所 大阪YCWセンター

(またはZoom)

問 レネ神父・水元

☎072-232-8063

✉osakaycw@gmail.com

HPhttp://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エフファタ!”練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

日時 第2(日)19:00~21:00

場所 オンライン・パソコン使用

問 障がい者委員会

✉dis@ostk.catholic.jp

### 精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い

守秘義務と分かち合い

いつ来てもウェルカム

当日キャンセルOK

日時 第3(日)14:00~16:00

場所 姫里集会所

参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)

申込 吉川まで

問 ☎078-583-2525

✉yassan.yoshikawa@nifty.com

### 点訳ネット「レジナ」◆勉強会

対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方

日時・場所

奇数月 第2(火)13:30~15:00

姫里集会所

偶数月 第2(水)13:30~15:30

北須磨教会

申込 笠松まで

問 ☎090-5661-4324

☎072-722-0271

✉kasamatsu-yukisan

@iris.eonet.ne.jp

### 聴覚障がい者ボランティア会◆聖書の手話表現の学び・教区活動の手話通訳者派遣

対象 手話に興味をお持ちの方 ※手話講習会ではありません

日時 第1・3・5(水)

10:00~14:00

場所 姫里集会所

問 障がい者委員会

✉dis@ostk.catholic.jp

### マザー・テレサ共労者の集い◆大阪梅田教会

日時 第1(土)14:00

問 高塚 ☎06-6921-0693

### ◆加古川教会

日時 第3(火)13:00~14:30

問 森田 ☎079-426-5704

行事等日程		
6月		
4 木	[常任司教委員会]	29 月 聖ペトロ 聖パウロ使徒パウロ酒井俊弘補佐司教霊名
7 日	キリストの聖体	7月
8 月	教区司牧者研修会(〜9日迄)	1 水 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者
12 金	イエスのみ心	平和月間(〜8/31日迄)
15 月	[定例司教総会](〜19日迄)	2 木 [常任司教委員会]
		4 土 11時 教区宣教司牧評議会
24 水	洗礼者聖ヨハネの誕生	8 水 10時半 顧問会・責任役員会
28 日	聖ペトロ使徒座への献金	13時半 司祭評議会

**案内・報告**

青年と子どもの錬成会  
 【日程変更】▽8月10日〜12日↓8月9日  
 11日(火)祝(会場:大阪信愛学院小学校)

修道院閉鎖  
 マリアの宣教者フランシスコ修道会神戸修道院(5月31日付)

主日ミサ時間変更  
 兵庫教会 11時↓9時(たかつり教会)9時↓11時

外国語ミサ時間変更  
 【インドネシア語ミサ】  
 【神戸中央教会】 第3日曜日15時  
 【大阪梅田教会】 第4土曜日17時

計画していたヴァチカンへの旅ができなくなり、昨今の世界情勢を思うと、呑気に旅行を楽しもうという気にもなれなくなっていました。人々の自由な移動や、互いを尊重し合う交流は、パンデミックや各地の紛争を乗り越えてこそ実現するものでしょう。地球の上に平和があつて初めて、私たちは生きていけるのだと痛感します。人間の知恵で何とかならないものか、私に一体何が出来るのだろうか……。そんな答えの出ない問いに、悶々とする日々を過ごしています。

(北摂地区 西村美穂)

**6月司教予定**

「行事等日程」以外

- 6/7 岬教会70周年記念ミサ(†S)
- 6/8~9 教区司牧者研修会(†M)(†S)
- 6/19 FIAT開会ミサ(†M)
- 6/21 宇和島教会・八幡浜教会合同堅信式(†S)
- 6/23~7/3 巡礼(†M) 高山右近列聖祈願・フランシスコ年など
- 6/26~28 枢機卿会議(†M) †M=前田万葉枢機卿 †S=酒井俊弘補佐司教

archdiocese\_of\_osaka\_takamatsu

大阪高松大司教区

Instagram Facebook

**SNS配信をはじめました**

カテドラル紹介や行事、大司教・司教の動向、各委員会の企画、また教区を越えてパチカンニュース、司教協議会の案内、報告、祈りetc. よりタイムリーで親しみのある投稿を目指し動きはじめました。みなさま是非、下記QRコードを読み取り、フォロワー登録をしてください!!

Instagram Facebook